



## 《将来に向けた取組方針》

テルモは富士山を囲む静岡県と山梨県に工場を有しており、富士山麓から湧き出る地下水を利用して医薬品や医療機器を生産しています。自然の恵みを受けて事業活動を行っている企業として、環境教育や森づくり活動などを通じて生物多様性の保全に取り組んでいます。地下水の源となる森を守り育てていきたいという想いから、2003年から毎年「テルモ富士山森づくり」を実施し、これまでに参加者のべ2300人、植林は累積3000本に達しました。今後もSDGsの社会課題をふまえ、豊富な水源を貯えCO<sub>2</sub>吸収力が高い森、生物多様性に富んだ森になるよう、社員や家族、地域のステークホルダーと一緒に森づくり活動を継続し、自然と共に生きる社会の実現を目指します。

## 《具体的取組み事例》(2020年2月現在) ■開始：2003年～ ■参加人数：延べ2300人 ■植林本数：約3000本

2011年度からは、静岡県、森林所有者、テルモの三者で「しずおか未来の森サポーター協定」を締結し、富士宮市麓地区の「テルモ恵みの森」で活動を実施。以下4つのテーマを掲げて活動中。



2030年の世界を描いてもらいました

生物

資源

郷土樹種の植林で  
多様な生き物が集う森  
植林や鹿食害対策等を実施

森林資源を活かす森

間伐材を使ったベンチ・テーブル  
や、原木しいたけづくりを実施

テルモの  
森作り

交流

健康

参加者や地域の方々  
が集い交流できる森  
社員や家族、地域の人々が参加

健康につながる森

森林ウォーキングの実施

